

アクレックス 3000ポアーステイン

仕 様 書

和信化学工業株式会社

木工塗料事業部

平成 年 月 日

## アクレックス 3000ポアーステイン

本品は木目を生かしながら、素材をカラフルに仕上げる水系顔料着色剤です。標準常備色は濃色タイプの全14色で、水で希釈してお好みの濃さを調整でき、更に混ぜ合わせてお好みの色を出すことができます。透明性の高い微粒子顔料を使用しておりますので、鮮明で耐光性に優れています。木地着色、又は塗料中に添加してカラークリヤーとしても使用できます。

### § 全14色ラインナップ

チェスナット ブラックオリーブ ワイン ディープブルー  
マホガニーブラウン ブラック チェリーレッド ホワイト  
オーク エメラルドグリーン ゴールデンエロー  
オリーブ グラスグリーン サンオレンジ  
(着色ベース メイクアップベース)

### § ホルムアルデヒド放散等級

アクレックス 3000ポアーステイン(各色) F (W01079)

### § 特 長

水系着色剤 …………… VOC含有量が少なく、消防法の危険物に該当せず、火気の心配がありません。  
厚生労働省指定の毒物・劇物に該当しない、低臭で環境に優しい着色剤です。(キシレン、トルエン、エチルベンゼン、ホルムアルデヒドを使用していません。)

濃さが選べる美しい仕上がり …………… 水で希釈する事でお好みの濃さが選べます。  
透明性の高い微粒子顔料の使用で、木地を活かした鮮明な着色が可能です。

### § 用 途

巾木・廻り縁・内壁・造作家具・木床・廊下・階段などの屋内木部全般への着色

### § 調 合 割 合

色の濃さはお好みによって水の量で変えて下さい。別紙カラーグラデーションを御参照下さい。メイクアップベースを使用する場合は、お好みの色に調合したポアーステインに20%(重量比)程度添加して、よく攪拌して下さい。

ポアーステイン/水 = 100/100を1つの基準としてお試し下さい。

## § 使用方法

【木地着色】 水で希釈し、色を混ぜることで(スタンダード色を使用する場合は原液のまま) お好みの濃さの色を作った後、塗布します。そのまま乾燥させることもできますが、拭きあげることで、より均一な木地に染み込んだ仕上がりになります。  
更に、ナラ材のような導管の深い木材や吸い込みムラの出やすい木材を着色する場合には専用着色ベースの「ポアーステイン メーカーアップベース」をお使い、拭きあげて下さい。目ハジキが無く、均一に着色できます。

< 注意点 > 着色剤を拭き取る際には、小さな円を描きながら擦り込むと導管に入りやすくなります。そして最後に拭き残しのないように、均一に拭き取って下さい。

【カラークリヤー】 アクレス 3400 木部用ウレタンクリヤーなどに好みの濃さになるように色を混ぜて塗装します。刷毛で塗装する場合には、あまり濃いと刷毛ムラが出やすくなりますので、クリヤーの5%以下を目安にポアーステインを加えて下さい。

## § 乾燥性目安

塗布量 60g / m<sup>2</sup> 原液:水 = 100:100 気温20  
乾燥 1時間(塗り放し)

条件によって乾燥時間は変わりますので参考として下さい。

## § ポアーステインへの各種塗料の密着性

上塗り塗料 \ 着色	ポアーステイン		メイクアップベース使用	
	有り	無し	有り	無し
アクレス 3200外部用クリヤー	○	○	○	○
アクレス 3400木部用ウレタンクリヤー	○	○~	○	
アクレス 3500フロア	○	○~	○	
アクレス 3550白木	○	○	○	○
ワシエコフロア	○~	○~		
ワシエコMフロア	○	○	○	○
ワシ Non-TXラッカークリヤー	○	○		

これは実験室におけるデータであり、実際には素材、塗布量、塗り重ねる時間、その他の条件で変わることがありますので参考として頂き、事前のチェックをお奨めします。

## § 塗装工程 (例)

### 1. 素地着色 (例) (素材 シナ合板 濃色又は、木地感を生かして仕上げたいとき)

工程	使用塗料	乾燥時間	塗布量	備考
素地調整	P150サンドペーパー			
着色	ボアーステイン/水=100/100	乾燥後すぐに拭きあげ	60g/m <sup>2</sup>	刷毛塗り
拭き取り	ウェス	1時間		
下塗	木部用ウレタンクリヤー	2～4時間	80～100g/m <sup>2</sup>	刷毛塗り
研磨	P320サンドペーパー			
上塗	木部用ウレタンクリヤー	4時間以上	80～100g/m <sup>2</sup>	刷毛塗り

木部用ウレタンクリヤー；アクレックス 3400木部用ウレタンクリヤー  
 条件によって塗布量はかわりますので、目安として下さい。  
 又その仕上がりによっては、塗装回数が変わることもあります。

### 2. 導管の深い素材への着色 (例) (素材 ナラ材 導管の深い材をムラ無く着色したい時)

工程	使用塗料	乾燥時間	塗布量	備考
素地調整	P150サンドペーパー			
着色	ボアーステイン/水/メークアップ =50/50/20 ベース	乾燥後すぐに拭きあげ	60g/m <sup>2</sup>	刷毛塗り
拭き取り	ウェス	1時間		
下塗	木部用ウレタンクリヤー	2～4時間	80～100g/m <sup>2</sup>	刷毛塗り
研磨	P320サンドペーパー			
上塗	木部用ウレタンクリヤー	4時間以上	80～100g/m <sup>2</sup>	刷毛塗り

木部用ウレタンクリヤー；アクレックス 3400木部用ウレタンクリヤー  
 条件によって塗布量はかわりますので、目安として下さい。  
 又その仕上がりによっては、塗装回数が変わることもあります。

### 3. カラークリヤー (例) (素材 杉材 淡色に仕上げたい時)

工程	使用塗料	乾燥時間	塗布量	備考
素地調整	P150サンドペーパー			
下塗	木部用クリヤー/ボアーステイン =100/5	2～4時間	100g/m <sup>2</sup>	刷毛塗り
研磨	P320サンドペーパー			
上塗	木部用クリヤー/ボアーステイン =100/5	4時間以上	100g/m <sup>2</sup>	刷毛塗り

木部用ウレタンクリヤー；アクレックス 3400木部用ウレタンクリヤー  
 条件によって塗布量はかわりますので、目安として下さい。  
 又その仕上がりによっては、塗装回数が変わることもあります。

## § 使用上の注意

5 以下での塗装や、多湿の際の塗装は乾燥時間が極端に遅れるだけでなく、仕上がりが問題となったり、求める塗膜性能が出にくくなる場合が有りますので避けて下さい。

本品は水系塗料ですので低温時には凍結します。凍結させますと外観が正常な状態に戻らなくなる可能性がある他、外観に問題がなくても塗膜性能が極端に低下している場合があります。0 以下の場所での保管を避け、凍結させないように注意して下さい。また、しっかりとフタをし、直射日光を避けたところに保管して下さい。

作業中や養生中はできるだけ換気を良くして下さい。上塗りの養生時にはゴミの付着には注意して下さい。

刷毛などの塗装器具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗ってください。乾いてしまうと水では落ちにくくなりますのでご注意下さい。その際はラッカーうすめ液等をお使い下さい。

取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具等を着用して下さい。皮膚等に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。

目に入った場合には多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

子供の手の届かないところに保管して下さい。

残塗料及び洗浄廃液は、河川・下水などに捨てず、中身を使いきってから廃棄して下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。